

霞ヶ関西中学校区

小中一貫教育

霞ヶ関西中学校区では、令和6年度より、小中一貫教育を実施しています。

学習指導要領を基本として、義務教育9年間を3つの段階に分け、それぞれの発達段階に応じた力を育成していきます。

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

国語 科

教科の目標

- ・心情を表す語彙を豊かにし、習得する。【知識及び技能】
- ・感じたり想像したりした事柄を、論理的に言葉で表現する力、伝え合う力を高める。【思考力、判断力、表現力等】
- ・言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとする態度を育成する。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい国語科の力

- ①日常生活の中で使いこなせる語彙を増やし、活用する力
- ②目的や意図に応じて、言葉を選び、伝えたいことを分かりやすく伝える力
- ③叙述を基に、文章の構成や展開を捉えたり、内容を理解したりする力

- ①読書活動を通して、新しい言葉を知ることができる。
- ②自分の考えを言葉に表すことができる。
- ③叙述を基に心情の変化を読み取ることができる。

基礎基本を徹底する時期

学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期

- ①読書活動を通して、新しい言葉を知り、活用することができる。
- ②自分の考えを言葉に表し、伝え合うことができる。
- ③叙述を基に心情の変化を読み取り、全体の構成を捉えることができる。

基礎基本を生かす時期

学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期

- ①言葉の効果を考えた上で使うことができる。
- ②相互の関わりの中で吟味し、論理的に表現することができる。
- ③学び続ける態度を育成する。我が国の言語文化に誇りを持つことができる。

基礎基本を応用する時期

自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期

小学校第1・2・3・4学年

小学校第5・6・中学校第1学年

中学校第2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

社会 科

教科の目標

- ・グラフなどの資料を適切に読み取る力を身に付ける【知識及び技能】
- ・諸資料や学習内容に関して、考える力を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】
- ・社会的事象について、よりよい社会を考え、主体的に問題解決しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい社会科の力

- ①教科書や ICT などを活用して、課題に対して必要な情報を収集する力
- ②収集した情報から、自己の考えを読みとって、まとめる力
- ③自分の考えたこと、まとめたものを他の児童・生徒に伝える力
- ④授業で学んだことを自分の実生活と結びつけ、地域・日本・世界の一員としての自覚を持つ力

①資料の大切さを学ぶ。 ②自分の考えを持つ。 ③自分の考えを伝える。 ④授業で学んだことを自分の実生活と結びつけ、地域の一員としての自覚を持つ。 基礎基本を徹底する時期 学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期	①提示された資料から適切な情報を収集する。 ②自分の考えを、ICT などを活用し、まとめる。 ③自分の考えを適切に相手に伝える。 ④授業で学んだことを自分の実生活と結びつけ、地域・日本の一員としての自覚を持つ。 基礎基本を生かす時期 学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期	①多くの資料から取捨選択をし、情報を収集する。 ②自分の考えを、ICT などを活用し、相手に伝わりやすいように、まとめる。 ③受け手の状況に応じながら、自分の考えを相手に伝える。 ④授業で学んだことを自分の実生活と結びつけ、地域・日本・世界の一員としての自覚を持つ。 基礎基本を応用する時期 自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期
小学校第1・2・3・4学年	小学校第5・6・中学校第1学年	中学校第2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

数 学 科

教科の目標

- ・数量や図形などの基礎的な概念を理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。【知識及び技能】
- ・論理的に考察する力、総合的・発展的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- ・数学的活動の楽しさやよさを実感させ、生活や学習に生かそうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい数学科の力

- ①基礎的な概念や原理・法則などを確実に理解し、処理する力
- ②数学的な表現を理解し、自分の言葉で事象を表現しようとする力
- ③数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学を生活に生かそうとする力
- ④問題を的確に把握し、粘り強く取り組む力

- ① 数の概念を理解し、基本的な計算をすることができる。
- ② 自分なりの考えを持つことができる。
- ③ 算数と身近な生活との関わりについて理解することができる。
- ④ 与えられた課題に取り組むことができる。

基礎基本を徹底する時期

学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期

- ① 原理や法則を理解し、正確に計算することができる。
- ② 自分の考え方を説明することができる。
- ③ 与えられた身近な生活に関わる問題に意欲的に取り組むことができる。
- ④ 課題を見出し、解決することができる。

基礎基本を生かす時期

学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期

- ① 能率よく計算することができる。
- ② 数学的な表現を用いて、自分の考えを説明することができる。
- ③ 既習事項を身近な生活に生かすことができる。
- ④ 既習事項を確認し、自分で解決することができる。

基礎基本を応用する時期

自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期

小学校第1・2・3・4学年

小学校第5・6・中学校第1学年

中学校第2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

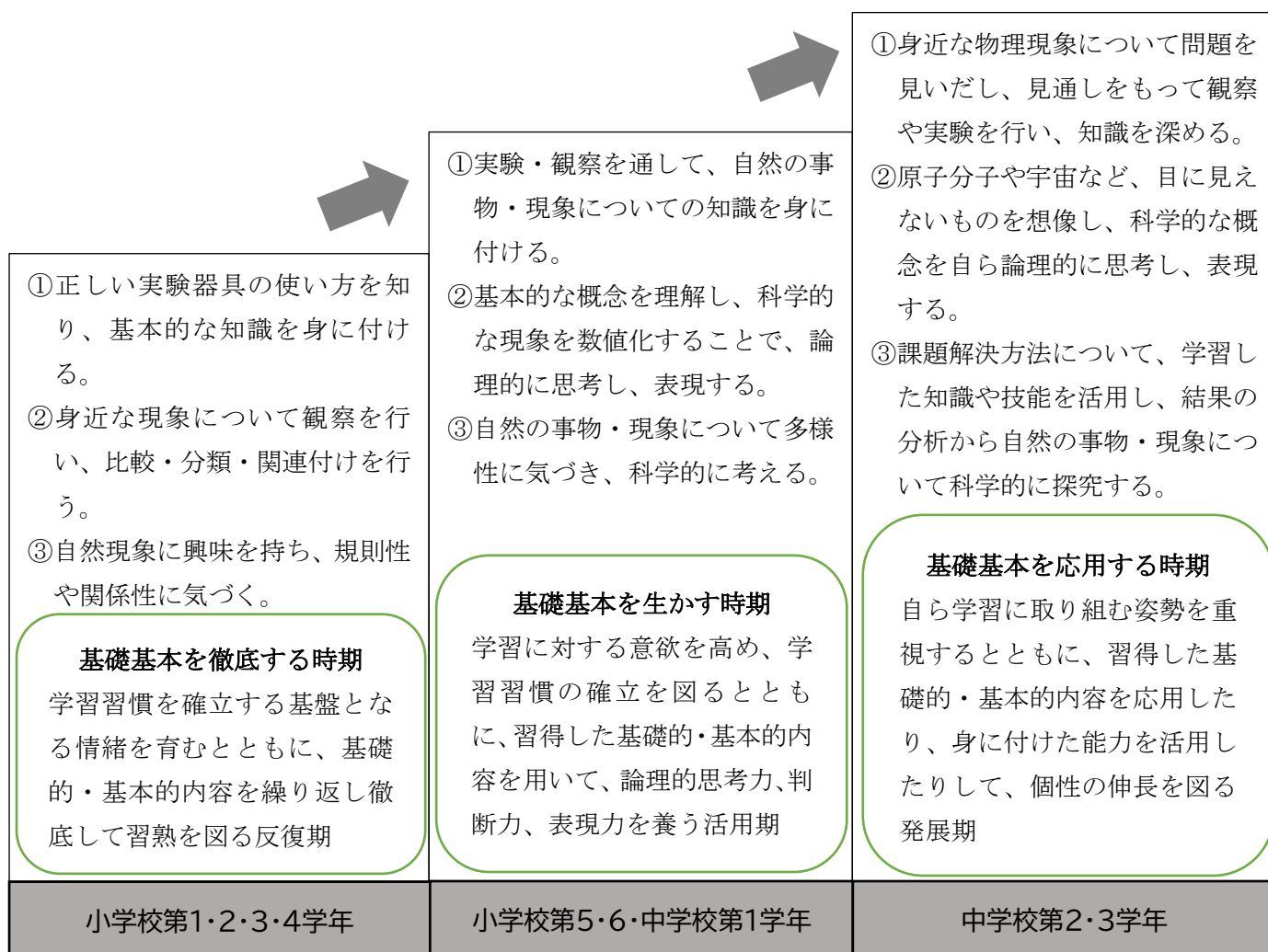
理科

教科の目標

- ・自然の事物・現象について、観察、実験などの体験活動を通して理解を深め、基本的な技能を身につける。【知識及び技能】
- ・観察、実験などを行い、科学的な見方や考え方を身に付け、探求する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、児童生徒が見通しを持って学習を進め、科学的に探求しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい理科の力

- ①身近な物理現象について、問題を見だし、見通しをもって観察や実験ができる力
- ②自然の事物・現象についての基本的な概念を理解し、論理的に思考し、科学的に探究していく力
- ③身の回りにある自然の事物・現象や、生命や地球に関する事物・現象について、多様性に気づき、規則性や関係性を見だし、科学的に考える力



霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

音楽 科

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付ける。【知識及び技能】
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さを味わって聴くことができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
- ・音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい音楽科の力

- ①創意工夫を生かした音楽表現ができる力
- ②曲想と音楽の構造などを理解する力
- ③音楽の良さを味わって聴く力

①曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき、楽しんで歌ったり、演奏したりすることができる。 ②曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき、表現にいかすことができる。 ③音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもち、知覚と感受を分けて聴くことができる。 基礎基本を徹底する時期 学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期	①曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、歌ったり、演奏したりすることができる。 ②曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき、表現にいかすことができる。 ③音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもち、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えながら聴くことができる。 基礎基本を生かす時期 学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期	①歌詞や楽曲の背景を理解し、思いや意図をもって歌ったり、演奏したりすることができる。 ②強弱や形式、テクスチャなどの要素がどのように働いているのかを理解し、表現にいかすことができる。 ③音楽の諸要素や、要素同士の関連を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えながら聴くことができる。 基礎基本を応用する時期 自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期
小学校第1・2・3・4学年	小学校第5・6・中学校第1学年	中学校第2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

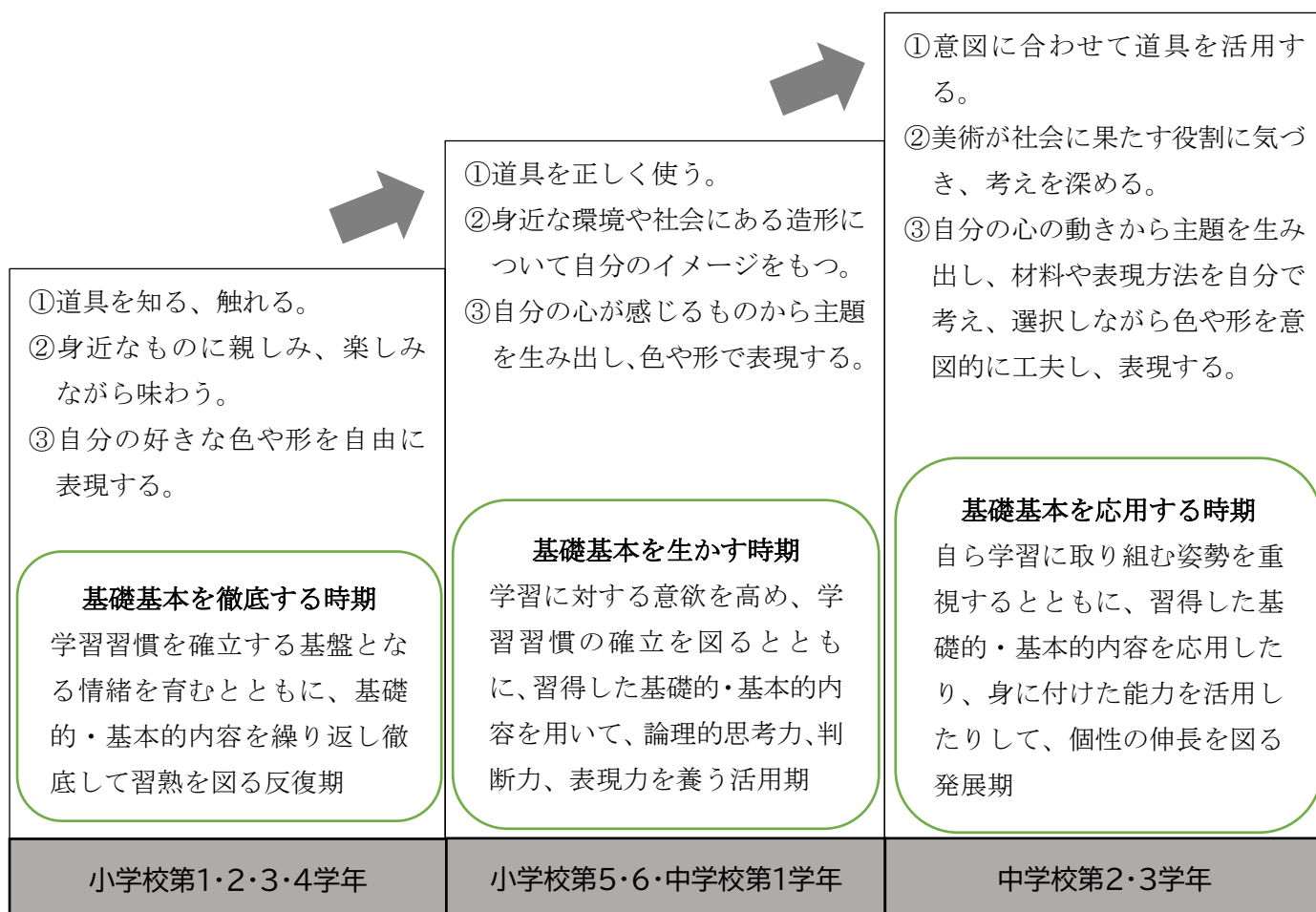
図工 科 美術 科

教科の目標

- ・自分の思いを表すための基本的な技術、知識を身に付ける。【知識及び技能】
- ・自分の心の動きから主題を生み出し、表現に合わせて材料や表現方法を考え、選択できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- ・図工美術を愛好する心情を通して、自分自身を大切にする心を育てる。自分の良さを認め、他者の良さも認め、受け入れる感性を育てる。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい図工科・美術科の力

- ①道具の使い方を理解し、正しく使いながら表現を工夫する力
- ②身の回りの造形や身近な環境、様々な文化や社会とつながる図工美術の役割などのおもしろさや美しさを感じ取る力
- ③自分の「好きだな」「きれいだな」「切ないな」「明るいな」「楽しそうだな」などの心が感じるものから主題を生み出す力
- ④作品を通して主体的に社会や文化、他者との関わり、創造活動の喜びを味わう力



霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

体育 科 保健体育 科

教科の目標

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい体育科・保健体育科の力

- ①体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践する力
- ②仲間と主に学習したことを実生活や実社会に生かし、運動の習慣化につなげられる力
- ③現在だけでなく生涯を通じて心身の保持増進や体力の向上を目指す力
- ④基本的な体の動かし方を実践する力

- ①様々なスポーツにふれて、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。
- ②ラジオ体操を覚えて行うことができる。
- ③基本的な生活の仕方を身に付けて健康に過ごすことができる。
- ④たくさん遊んで体を動かすことができる。

基礎基本を徹底する時期

学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期

- ①体力と技能に合ったルールの中で試合を楽しむことができる
- ②ラジオ体操を美しく行うことができる。
- ③自分の生活を見直し、改善点に築くことができる
- ④いろいろな動きを体験し継続して取り組むことができる。

基礎基本を生かす時期

学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期

- ①大会の運営や実施を通して、仲間と協力して運動を実施することができる。
- ②自分に必要な要素の体操を作ることができる。
- ③自己管理を行い心身の保持増進と体力の向上を図ることができる。
- ④体の動かし方を組み合わせて調和のとれた体の動かし方ができる。

基礎基本を応用する時期

自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期

小学校第1・2・3・4学年

小学校第5・6・中学校第1学年

中学校第2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

家庭 科 技術家庭 科

教科の目標

- ・生活と技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けようとする。【知識及び技能】
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。【思考力、表現力、判断力等】
- ・家庭生活を大切にできる心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい家庭科・技術家庭科の力

- ①生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図り、自身の生活を自立させる力
- ②生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力
- ③社会の一員として、生活をより良くしようとする実践的な力



- ①日常生活に必要な調理方法を該当学年で確実に身に付けていく。(ゆでる、いためるなど)
- ②消費生活などで、他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりして課題を解決する。
- ③衣生活、住生活（日本の生活文化）について学んだことを実践していく態度を養う。

基礎基本を徹底する時期

学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期

- ①日常生活に必要な衣食住の知識と技術を確実に身に付けた知識・技能を、実生活で活用できる。
- ②家庭生活の中での消費の仕組みを理解し、見つけ出した課題への取組について話し合い、持続可能な生活に向けてより良い解決法を考える。
- ③日本の生活文化を受け継ぎながら、現在の生活に生かせる実践方法を考える。また、自分の住んでいる地域の文化を知るとともに他の地域についても理解しようとする態度を養う。

基礎基本を生かす時期

学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期

基礎基本を応用する時期

自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期

小学校第5・6学年

中学校第1・2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

外国語 (英語)科

教科の目標

- ・音と文字を一致させることができるようにする。【知識及び技能】
- ・パフォーマンステスト等を通して、身近な事柄について表現できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- ・授業の導入や振り返りで、児童生徒の興味・関心を高め、主体的に取り組むことができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

児童生徒に身に付けさせたい英語科の力

- ①自分自身のことや好きなもの・考えなど、身近な語句や文を書ける力
- ②発表や活動で使った表現を、実際に運用することができる力
- ③必要な情報を、聞き取ったり読み取ったりする力



①小学校第3・4学年での外国語活動からの継続で、アルファベットを定着させる。次に、自分自身のことや好きなもの・考えを表す語句、その後、様々な事柄を表す語句というように、段階的に語句を書く力を身に付けさせる。

②小学校の Let's read and write (Let's write) で書いたこと、発表したことを中学校でも繰り返し行う。スモールトークを取り入れるのもよい。

③小学校の単元テストで必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする練習を始め、中学校での学習につなげる。

基礎基本を徹底する時期

学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期

①身に付けた語句を定着させ、1文での表現を身に付ける。その後、英作文など、まとまりのある文章を書けるようにする。フォニックスなどを導入するのもよい。

②小学校の Let's read and write (Let's write) を中学校でも繰り返し、使える語句や文を増やしていく。スモールトークを取り入れるのもよい。

③単元テストを引き続き行い、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする力を養う。

基礎基本を生かす時期

学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期

基礎基本を応用する時期

自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る

小学校第5・6・中学校第1学年

中学校第2・3学年

霞ヶ関西中学校区校種間連携教育プロジェクト 各教科等カリキュラム概要

特別支援教育

目標

- ・社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける。
- ・自分らしく心を豊かに生きていく力や、人を愛し人から愛される言動を身に付ける。

児童生徒に身に付けさせたい力

- ①相手を思いやったコミュニケーションをとる力
- ②情報モラルを守り、生活に役立てる力
- ③目標達成のために必要な知識・技能を身につける力
- ④自己を振り返り自らの気持ちを表現する力

- ①困った時に人に助けを求めることができる。
- ②社会の基本的なマナーやルールを理解する。
- ③家庭や学校生活に必要な生活習慣を身に付ける。
- ④目標に向かって最後まであきらめずに取り組む。

基礎基本を徹底する時期

学習習慣を確立する基盤となる情緒を育むとともに、基礎的・基本的内容を繰り返し徹底して習熟を図る反復期

- ①集団における役割を理解し、行動できる。
- ②自分にとって必要な情報を収集できる。
- ③家庭や学校生活に必要な生活習慣を身に付ける。
- ④自ら目標を設定し、達成に向けて取り組む。

基礎基本を生かす時期

学習に対する意欲を高め、学習習慣の確立を図るとともに、習得した基礎的・基本的内容を用いて、論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期

- ①集団における役割を理解し、協力する。
- ②ICT 機器等から情報を収集し正誤を見極め、活用できる。
- ③職業生活に必要な習慣・能力を身に付ける。
- ④適切に自己の活動を振り返り、次に活かそうと努力する。

基礎基本を応用する時期

自ら学習に取り組む姿勢を重視するとともに、習得した基礎的・基本的内容を応用したり、身に付けた能力を活用したりして、個性の伸長を図る発展期

小学校第1・2・3・4学年

小学校第5・6・中学校第1学年

中学校第2・3学年